

学外アートプロジェクト

JR香椎駅に季節のイラストを描く「ガラスアート」プロジェクト



JR香椎駅に描かれたガラスアート



中川さんが制作した「夏」バージョンの原画

JR香椎駅に併設されている「えきマチ一丁目香椎」のエントランスショーウィンドーへ季節のイラストを描くプロジェクトに、造形短大の学生も取り組みました。ガラスに特殊なクレヨンで描くため、下絵を担当した造形芸術学科2年の中川民子さん(佐伯豊南高校)は、「クレヨンは色の濃淡をつけることができないので、グラデーションに見えるように、デザインを工夫しました」と苦労を語りました。

学生たちは、授業の合間をぬってJR香椎駅に行き、約1週間かけて仕上げました。現場の作業スペースはとても狭く、無理な体勢を取りながら描くなど大変な作業でしたが、通る人から「ステキな絵ね」と声を掛けられるなど、コミュニケーションを取りながら描いた貴重な体験となりました。

東日本大震災の被災地の神社に奉納する「松の絵制作」プロジェクト

東日本大震災で消失した宮城県古谷郡八幡神社の能舞台を復興するため、松の絵を制作するプロジェクト。現地在住の造形短大OBからの要請により、同窓会の支援を受け、制作に取り組みしました。

今年6月、学生たちは、絵の具代等を捻出するために、缶バッジを制作販売することからスタート。6月後半からは、約20人の学生たちが、下絵制作に取りかかり、力作ぞろいの中から、造形芸術学科2年の大町莉佳さん(佐賀北高校)の作品が選ばれました。

鏡板に松の絵を描いたのは、実技講習会や第1回オープンキャンパスの期間中。多くの高校生や見学者を前に、下絵から細かな彩色まで、2日間かけて完成しました。大町さんは、「この松の絵で、地元の方々が、元気に幸せになっていただけたら、と願っています」と思いを語りました。



「本物の松の質感を大事に描きました」と大町さん

塗り直しができないために、慎重に素早く描いていきました

子どもが喜ぶかわいい動物の絵がいっぱい「やまのみ保育園壁画制作」プロジェクト



子どもたちの笑顔が思い浮かべながら、真夏の屋外でペインティング



「壁画を描くのは初めてだったのでいい体験になりました」と花田さん



「壁画を描くのは初めてだったのでいい体験になりました」と花田さん

造形短大近くのやまのみ保育園に、学生たちがかわいい壁画を描きました。やまのみ保育園から依頼されたこのプロジェクト。約20人の学生たちが、それぞれ下絵を制作。保育園へプレゼンテーションを行い、造形芸術学科1年の花田千恵さん(真颯館高校)の作品に決まりました。

花田さんは、「園のキャラクターである動物たちをモチーフにしました。壁画のような大きな作品は初めてだったので、いい経験になりました」と話しました。

壁画を描いたのは、8月6日(木)・7日(金)の2日間。炎天下の中、汗を流しながらの大変な作業でした。それでも、学生たちは、空いたスペースにアドリブで絵を描き込むなど、現場でアイデアを出し合いながら、作品を仕上げました。子どもたちは、出来上がったばかりの壁画を見るなり大はしゃぎ。保育士の方々も、大変喜んでいただきました。

九州造形短期大学が変わります!

学び・つながりが広がる新校舎へ

九州造形短期大学は、快適でより良い学びの環境を目指し、九州産業大学内キャンパスに集結します。実習室が集結した新たな工房棟、隣接する美術館や食堂、さらに九産大前駅からも近く、これまで以上に利用しやすい環境に。学部・学科を越えた交流が広がり、関心や知識を深めることができる「芸術エリア」が完成します。



香椎祭造形フェスティバル

第47回香椎祭造形フェスティバル'15 香椎祭開催日:10月31日(土)~11月3日(火・祝)



昨年の香椎祭造形フェスティバルの様子



「これまでとは違う造形フェスティバルを、ぜひ見に来てください!」と笑顔で呼び掛ける片岡さん

今年の香椎祭造形フェスティバルのテーマは「Evolution(創生)」。個性の彩り豊かな学生が集う造形短大の良さを生かした、新しいフェスティバルを目指しています。校舎全体を大胆に使ったディスプレイや「食」をテーマにしたグループ展など、新しい企画も盛りだくさん。紙で作ったドレスのファッションショーやコスプレショー、オリジナルグッズの販売など、毎年好評の企画も行います。香椎祭実行委員長の片岡亜耶さん(造形芸術学科2年・稲築志耕館高校)は、「学生の作品が多様な分野にわたるので、どんな方にも楽しんでいただけると思います」と笑顔で話しました。